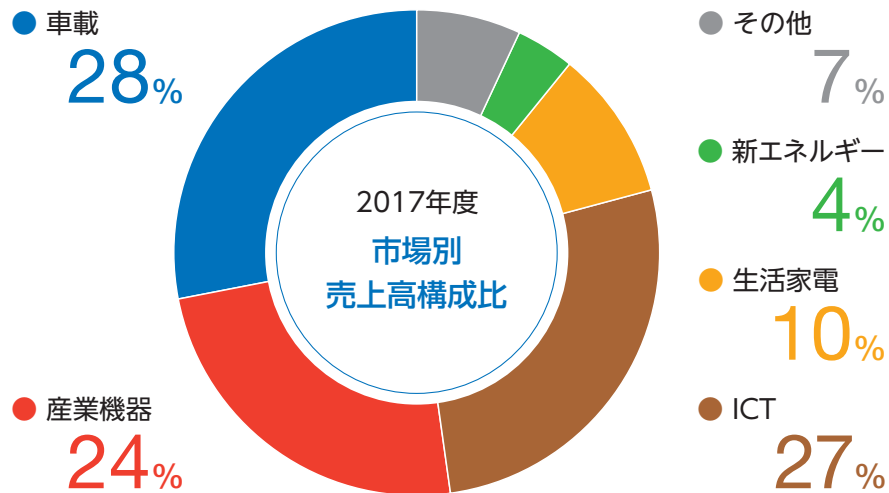


市場別売上高構成比

日本ケミコングループでは、市場拡大が期待される5つの分野を「戦略5市場」と呼び、マーケティングや製品開発、拡販活動に力を注いでいます。戦略5市場別にみた2017年度における売上高構成比はグラフのとおりです。



車載市場

前年度比1ポイントDOWN

28%

電気自動車やプラグインハイブリッド車に搭載されるオンボードチャージャー（車載充電器）などxEV車関連機器のほか、エンジンやステアリングを制御するための電子回路やSRSエアバッグ、エアコン、ヘッドライトなど幅広い電装機器に当社製品が使われています。特に近年、ADAS（先進運転支援システム）や自動運転システムなど、自動車のインテリジェント化を支える機器に向けた製品の売上が伸びています。減速エネルギー回収システム向け電気二重層キャパシタのほか、カーナビゲーションシステムやドライブレコーダー向け製品もこのカテゴリーに含まれています。

■ 使用されている主な製品

アルミ電解コンデンサ
(チップ形)アルミ電解コンデンサ
(リード形)

ハイブリッドコンデンサ



電気二重層キャパシタ



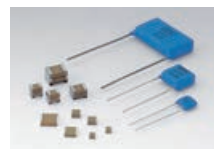
産業機器市場

前年度比1ポイントUP

24%

半導体工場に並ぶ製造装置、自動車の製造ラインで稼働する産業用ロボット、旋盤やフライス盤に代表される工作機械など産業機器向け製品をまとめたカテゴリーです。さまざまな産業における生産工程の自動化（ファクトリーオートメーション）や、AIやIoT機能を搭載した設備の普及、機器の環境性能を向上させるインバータ電源などが需要を押し上げています。電車や航空機などの公共交通機関、建設重機、街の安全を守るセキュリティ機器、ライフラインなどのインフラ設備に向けた製品もこのカテゴリーに含まれています。

■ 使用されている主な製品

アルミ電解コンデンサ
(基板自立形)アルミ電解コンデンサ
(ネジ端子形)

積層セラミックコンデンサ



チョークコイル



新エネルギー市場

前年度から変動なし

4%



太陽光発電システムに欠かせないパワーコンディショナーや、各国で設置が進む風力発電設備など、再生可能エネルギー分野向けの売上をまとめたカテゴリーです。他の分野に比べると市場規模はまだ小さいものの、環境問題やエネルギー問題の観点から社会の関心が高く、中長期的に今後の成長が有力視されている市場です。技術トレンドや市場動向を見極めながら積極的に販売を推進しています。

■ 使用されている主な製品

アルミ電解コンデンサ
(基板自立形)アルミ電解コンデンサ
(ネジ端子形)

セラミックバリスタ



チョークコイル

生活家電市場

前年度から変動なし

10%



エアコンや冷蔵庫、洗濯機などに代表される白モノ家電を中心としたカテゴリーです。消費者の環境問題への意識の高まりから、これらの機器の多くは省電力化を目的にインバータ化されており、これに伴って電子部品の市場が拡大しています。インターネットにつながるスマート家電やIoT家電が商品化されるなど機器の高機能化が進んでおり、新たな市場創出によるマーケットの拡大が期待されます。

■ 使用されている主な製品

アルミ電解コンデンサ
(リード形)アルミ電解コンデンサ
(基板自立形)アルミ電解コンデンサ
(ネジ端子形)

チョークコイル

ICT市場

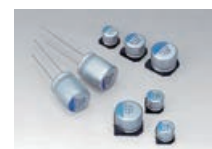
前年度から変動なし

27%



ICTはInformation & Communication Technologyの略で、テレビ、パソコン、家庭用ゲーム機などのデジタルAV機器や情報通信機器向けの売上をまとめたカテゴリーです。事業ポートフォリオの見直しを図り、コモディティー化がみられる一部の民生機器への販売を絞り込む一方で、データセンターやクラウドサービスの拡大に伴うサーバー向け需要や、通信の高速大容量化が進む携帯電話基地局向け需要が堅調であり、仮想通貨のマイニングマシンのような新市場も立ち上がっています。

■ 使用されている主な製品

アルミ電解コンデンサ
(チップ形)アルミ電解コンデンサ
(リード形)アルミ電解コンデンサ
(基板自立形)

導電性高分子コンデンサ